

「第1回 授業のユニバーサルデザイン研究 東海支部大会」

日 時 平成23年8月9日(火) 午後12時45分受け付け開始～4時30分終了
場 所 渋川福祉センター（2Fくすのきホール）
参加費用 1000円
参加人数 80名
主 催 授業のユニバーサルデザイン研究会東海支部
後 援 愛知県教育委員会・尾張旭市教育委員会・瀬戸市教育委員会

研修内容

第1部「特別支援教育と教科教育の融合を目指して～通常学級の授業を再考する」

廣瀬由実子先生の講演を通して、通常学級の授業の在り方を考える研修

廣瀬由実子（ひろせ ゆみこ）

国立特別支援教育総合研究所 上席統括研究員 兼（発達障害教育情報センター長）

第2部「実践国語授業のユニバーサルデザイン」

桂先生の模擬授業を通して、国語授業の在り方について提案する研修

桂 聖（かつら さとし）

筑波大学附属小学校教諭

授業のユニバーサルデザイン研究会代表

※ 国語授業のユニバーサルデザインとは

すべての児童が、見て確認できて、分かったと実感できる国語の授業のことである。通常の国語授業で追求していた分かる授業づくりを再考するとともに、特別支援教育の考え方を取り入れていかすことで、発達障害など特別な支援を必要とする子どもを含めて、学級の子どもたちが全員分かる国語の授業を目指すことにある。

国語授業のユニバーサルデザイン研究会東海支部

代表 武田直樹

幹事 鈴木ちづ子・山口みのり・山本智子・武田寿水江